

中勢バイパスの早期供用について

質問 中勢バイパスの第5工区稲生～野町間が計画より一年早く、来春供用になるとのことだが、接続する道伯稲生線稲生高校前、亀山鈴鹿線野町周辺の歩道整備は供用までに間に合うか。また通行量がさらに増加する旭が丘地区の歩道整備の取組みは進んでいるか。

答弁 稲生高校前は工法の変更などで遅れ、平成

28年度の完了予定だが学校と協議し工期短縮を計っていく。亀山鈴鹿線野町周辺は、バイパス供用までに完成予定。旭が丘地区の歩道整備は昭和60年以降、地域説明など現道拡幅を伴う都市計画決定の取組みはしていないが、今後は県の都市計画マスタープランなどへ具体的な記載をお願いし、都市計画決定へ向け県と協働して検討していく。他にも通行者の安全確保のための方法を地元の意見をお聞きしながら、県に要望していきたい。

その他の質問 ○交通安全対策推進について

不育治療・*不育症について

質問 市内における相談件数について。啓発や助成金などの今後の考えを問う。

答弁 現在までの相談件数は3件であり、いずれも助成制度に関する問い合わせである。今後の啓発への考えは、不育症に関する正しい知識や専門機関などを掲載し、認識が高まるよう情報提供に努めたい。助成については、国や県への働きかけ

も含め、公的支援の実施に向けて検討したい。

*不育症・・妊娠はするが2回以上の流産や死産、生後1週間以内に死亡する早期新生児死亡により子供が得られない症状。65%は明らかな原因が分からないが、一部に関しては適切な治療を行うことにより無事出産することができる。患者数は全国で推定約140万人である。

証明書発行事業と行政改革について

質問 コンビニでの証明書交付による経費削減想定と窓口業務の将来像について、また本事業を契機とした電子行政の方向性。

答弁 証明書発行に係る手数料単価等の見直しを行う予定であり、改定時期や改定率など具体的検討を行っている。コンビニ交付の対象となる証明書発行枚数は24年度ベースで19万5,198件。窓口交付総数の72.4%。5年後には約2万件がコ

ンビニ交付に移行できると考えており、その分経費が削減できる。また、コンビニ交付開始により窓口の混雑緩和が図られ業務の効率化と市民サービス向上につながる。本事業を契機とした電子行政の方向性については、利便性向上、費用対効果、セキュリティ保持等の観点で総合判断し、オープンガバメントの潮流に合わせ計画及びIT推進体制含め検討を行う。

その他の質問 ○緊急経済対策の効果と課題について

長太海岸の保全について

質問 「三重県海岸整備アクションプログラム資料」の鈴鹿海岸の地区名「南長太地区」は「北長太地区」ではないのか。緩傾斜式の海岸堤防の沈下等を把握しているのか。

答弁 三重県の告示により現在の名称である「鈴鹿海岸 南長太地区」として海岸保全区域の指定がされた。告示の際に南長太地区と錯誤し指定さ

れたと推察するため、県に対して名称変更を慎重に検討するよう要請する。施工から15年の歳月が経過し、10cmほどのブロックの沈下箇所や、ブロック間が最大で20cmほどの隙間が開いている箇所が見受けられたので、応急的な対応を図っていく。今後、国が策定した「漁港海岸保全施設の老朽化調査及び老朽化対策計画策定のためのマニュアル」に基づき、緩傾斜式の海岸堤防を含む、市が管理する海岸保全施設全般の現況調査を検討していく。